

会 議 録

会議の名称	平成26年度第6回富士見市社会教育委員会会議
開催日時	平成26年12月6日（土）午前9時30分～12時
開催場所	教育委員会 2階 会議室
出席者	高野昂子委員、西山ひろみ委員、武田秀規委員、 長ヶ原美博委員、本間雄一委員、 小森和雄委員、児玉亮一委員、 事務局（生涯学習課主査）
欠席者	田尻 円委員、千葉純平委員、岩村沢也委員
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議次第	<p>1. 協議事項</p> <p>（1）報告書の作成について</p> <p>（2）その他</p> <p>2. 報告及び連絡事項</p> <p>（1）研修報告</p> <p style="padding-left: 2em;">平成26年度10月31日（金）午後2時～午後4時30分</p> <p style="padding-left: 2em;">「第38回人権を考える集い」</p> <p style="padding-left: 4em;">針ヶ谷コミュニティセンター3階</p> <p style="padding-left: 2em;">西山委員、田尻委員</p> <p>（2）入間地区社会教育委員部会</p> <p style="padding-left: 2em;">平成26年11月27日（水）</p> <p style="padding-left: 2em;">長ヶ原委員、小森委員</p> <p>3. その他</p> <p>（1）その他</p> <p style="padding-left: 2em;">*次回会議日程</p> <p style="padding-left: 4em;">日時：平成27年2月9日（月）19時～</p> <p style="padding-left: 4em;">会場：教育委員会会議室</p> <p style="padding-left: 2em;">*5委員会研修会 1月24日</p>
会議資料	① 次第 ②第4回入間地区市町社会教育委員部会報告書 ③ 公民館だより（11・12月号） ④難波田城だより ⑤図書館 要覧 ⑤富士見市生涯学習ガイドブック
会議録確認	武田秀規委員

会 議 内 容 (要点記録)

◇ 開 会 事務局から、配布物確認を行う。

◇ 議長あいさつ

○ 報告及び協議事項

1. 協議事項

【議長（武田氏）】

(1) 報告書の作成について

前回、報告書作成の割り当てを決めました。「1 はじめに」と「2 現状・課題」は2人で分担してください。「はじめに」を書き始めると「現状・課題」に触れざるを得ないと思います。

その他は「3 意見・考察」「4 具体的な提案」「5 具体的実施例（検証含む）」「6 おわりに」の章立てです。

【事務局】

「5 具体的実施例」は、1月～3月の小中学校の懇談会の時にピアサポートや親学についてのお話をさせてもらいたい、ということで校長会で依頼をしましたが、合計17校のうち16校が難しいということ。残り1校も校長先生は「とても良いですね」と言っているが現実的には難しいようです。

であれば「5 具体的実施例」は今回載せられないかもしれません。

【事務局】

先ほど配付した「富士見市生涯学習ガイドブック」にも「親子サロン」や「はじめてパパの子育てサロン」など、親学、家庭教育に繋がることが出ているので、そういった事業も既に行政として取り組んでいるので報告書に盛り込めたら良いと思います。

今回の報告書はPTAなどの人たちが講座を開催する時などに読むと、参考になるもの、ここに連絡したら講座が出来るとか、見てすぐ活用できる報告書を作成しようということだったので話をすすめてきたが、プラス行政に対しての提案も少し取り入れたら良いのではないのでしょうか。例えば、既に行政で行っている家庭教育に関する事業を横に繋いでいく、横断的な提案を報告書の中に入れてはどうだろうかと思いました。

【議 長】

ガイドブックを見てもお分かりでしょうが、それぞれの問合せ先を見ると、公民館、健康増進センター、交流センターなどバラバラで、生涯学習課が把握していないところで行われている。以前も話として出ているが、横の連携が取れていないのが課題なのではないかと思う。例えば、講座などを行う時に決まった書式で、メールやFAXなどの手段で、生涯学習課が把握できるような形をつくる。「連携の強化とそれを活かした情報提供」というような提言を行政に対して出来ないかということです。

【事務局】

あくまでも事務局からの提案なので、今回の会議で決めていただければ良いと思う。

【委員】

公民館、コミュニティセンター、交流センターなどの生涯学習施設が1つもない小学校区がある。生涯学習施設があれば情報が包括的に得られるのだが、有る地域、無い地域とで格差がある。

【事務局】

そういうこともあって、前期は他市へ出かけて行って、生涯学習の一括管理について研究されていたと思います。

【委員】

入間地区 PTA 連絡協議会で、各市の運営状況の違いが分かった。メール配信についても、富士見市はバラバラで、各団体が必要と思えば取り入れているが、入間か狭山は行政で行っている。

【議長】

「情報の集約をしてください」、みたいな提言、入れられればいいですね。教育委員会にボールを投げてみなければ始まらないので、「こういうことをやってください」という書き方で入れる。

今までの流れはそのまま、一つ付け加えると言う形で出来るか。

【委員】

ガイドブックを見ると、小学生・中学生を持つ親を対象の事業は見当たらない。小学生・中学生・高校生の年代別の親に対する事業もこの中に組み込めたらいいのではないかと思う。中1に対する親の心の持ち方とか、受験生になったら、高校に入ったら、の親の心構えの事業があったらと思う。

【議長】

現状は恐らく学校単位とか、PTA とかでやっている。全くやっていないということは無いと思う。その情報は生涯学習課に入って来ないと思う。学校はその学校の保護者向け、単Pは会員向け、と言うことでは、ここに載せられない。

【議長】

ここままで話したことで纏められそうでしょうか。

【委員】

情報を纏めるのはやった方が良く。ただ、こういう形でやったというのを出さないと。こういう方法でということはどうするか。長年課題だということ、各課の縦割りで今まで流れているものを、どう横にうまく繋いでやるか。国から含めて、横に繋がらないというのは、明治以来のことで、そこを繋げるのはスーパーマンが

繋げないとうまくいかない。

これまでは、検索していくとこういう情報にたどり着くという方法を一元的にできないかと言う言い方はあるかも知れないが、担当者がいても全て網羅は出来ないから、答えられないと思う。何かのキーワードで検索していくとそこへ繋がるという方法。ホームページに打ち込んで、キーワードで辿っていく。市民が能動的に動かないと行きつけない。受動的なタイプの人だと難しい。

【議 長】

生涯学習課が予め情報を知っておくということは、出来るんじゃないかという気はするんです。一つの事業についてA4・1枚で、公民館・交流センター・増進センターから情報を集めてファイルしておく。1年も取っておけばいい訳です。今は電子化ですから。

【委 員】

ガイドブックの子育てという中で、どういうものがあるのかということが、正確に伝わることを考える。保護者の立場から言うと、生涯学習よりも教育相談室の概要やあすなろ、各小学校の教育方針や中学校の部活の内容など、教育に特化した冊子の方が、教育のクオリティというもので行くと保護者向けには受け入れてもらえそうだと思う。情報をどう収集するか、提供するか、どういうインフラを整えるのか、どういうツールを使うのか、を絞り込んで、どう伝えていくのか。

私が究極に考えているのは、公民館でもなく交流センターでもなく、小学校単位に一つ情報発信のアンテナショップが小さくてもあって、そこにコーディネーターがいて、そこに行けば保護者は正確な情報が得られるよというような施設があればと思う。みずほ台小区には水谷公民館はありますが、水谷小学校との差がすごく大きい。小学校単位でエリアを絞っていく。地域の人に聞いたら、同じ考えはあった。みずほ台小地区は、町会が5つで、水谷小と両方の学区の町会があり、今年は会長が水谷小・副会長がみずほ台小を担当してというように入り組んでいる。集会所しかないので、まつりをやるのも町会毎だし、町会長たちも一か所に集まる機会がない。育成会もないです。前に出たカフェとか、コミュニティが無くても、そういったところが一か所あったらと思う。

【議 長】

こういうのも子育てに特化した場合、というものがあつたら。リアルタイムでなくても、年に1回こういうものがあるということが、幼児期から小学校・中学校、場合によっては高校生くらいまでの、子供たち・親たちを対象にした学校単位・PTA単位・地域単位でやっているものも含めて出来ればいいでしょう。

【事務局】

具体的な提案の中に、事業とホームページというのがありますけれども、ホームページだけではなくて、ガイドブック的なものを追加する形で提案していただいてもよい。

【委員】

部活動を入れるのは、中学校の教育の中で大事だと思っている。小学校の親の手元にも行きますから。それと、少年野球・サッカー・バスケットもそうですが、コーチの方も好きで無償でやってくれるわけで、市内のスポーツという括りで、こういったチームがあるということ載せる。そうすると自分も入ってみようとなる。一貫性のあるものにしていったら、いい情報ツールになると思う。育児という括り色々な情報が入ってくるでしょうが、義務教育である小中学校の保護者向けということで、絞ってもいいのではないかと思う。お金がかかるのであれば最小限の情報でもいい。それがあればPTAも載せられると思う。うちはこういうことに力を入れている、バザーをやるから参加してくださいとか。そういったものを作ると、それに関わる人がみんな集まってくると思う。

【議長】

時間がだいぶ過ぎました。この報告者の中に、そういう方向性で、この文面を入れるということで良いですか。大丈夫ですか。

【委員】

せっかくの機会ですから、入れることはいいと思います。

【議長】

ある程度具体性のある提言でないと、と思うので、そこら辺まで踏み込んでいかないと（色々な話が出ましたが）。

【委員】

ということは（５）具体的実施例（検証含む）が消えたということですね。

【議長】

ホームページのこととも関係してくる。

【委員】

例えば、ホームページで電子データ化されている訳だから、検索の間に、「子育て・中学校・中学生」を入れてジャンプするか、質問を入れて「子育て悩み」とか「非行問題」とか「LINE」とか入れていくと、こういうサークル先が出てくる。読んでもらうためにはどうするか、これを使ってもらうためにはどうするか。子育てに特化するだけでも、「不登校に悩んでいる」と入れると「相談室」が出てくるとか、「子ども同士の人間関係」に入れると「ピアサポート」に行きつくとか、そういうのがあってもいいかなと思う。

【議長】

これから纏めるのにあたって皆さんで確認しておきたいことはありますか。

【委員】

テーマとかははっきりしていた方がいい。

【議 長】

一番最初に頂いた「保護者の学びや育ちを応援する学習機会の充実施策について」というのがありますが。

【委 員】

それでいいと思う。

【議 長】

次は2月ですから、間が空いてしまいます。その間にある程度書いておくということになります。2月の時には、文章にしてコピーして皆さんに目を通して頂けるような形にすれば、その先もやりやすい。

【委 員】

文字数は自由にやっておいて、皆で見て・・・

【議 長】

前回のを見ると、

1、はじめに A 4 半分

2、現状・課題 A 4 半分～1枚 もっと少なくてもいい。

【事務局】

文字数的には、前回会議の記録によると、全項目A 4・1枚～2枚、それ以上になると体裁はいいけれど1回見ると終わりになってしまう。と言うことですね。

【委 員】

前回の場合は「28期研究協議に当たって」という書き出しだった。「はじめに」とあって、大枠の今の課題があって、次の段階で〇〇策とかがある。

「はじめに」の中にも現状と課題が少し入らないと書き辛いですね。現状と課題に法的な流れを入れるのかどうかということ。教育基本法が変ってきた流の中で、「家庭教育をちゃんと行政が支援しろよ」と最終的には書かれている訳ですから、「現状と課題」に入れるのか、分け口が難しいなと思うが、二人で頑張って書きたいと思う。

【議 長】

協議事項は以上で、報告及び連絡事項に移ります。

【委 員】

(1) 研修報告（西山委員）

平成 26 年度 10 月 31 日（金）午後 2 時～午後 4 時 30 分

「第 38 回人権を考える集い」 針ヶ谷コミュニティセンター3 階

「DV の話」で、ご本人が DV を受け、シェルターに逃げ出してそこから自律して、今、DV を受けられている方のサポートをしている方のお話でした。

(2) 入間地区社会教育委員部会（長ヶ原委員、小森委員報告）

平成 26 年 11 月 27 日（水）

10 月 10 日の研修会の反省会。仮の報告書が出来ていて、〇〇市も××委員の発言に個人名を入れていいのかと言う論議があった。個人名は隠そうと多数決で決まった。研修会は全体的に成功だったという評価。基調報告は短かったのではないかという意見と、短かったから次の分科会に繋がったという意見があった。

報告書については、社会教育委員全員分と事務局分を、後程送付頂きます。

来年、生涯学習ホーラムがある、ということです。

情報交換として、

川越市は「学びを支援する環境づくり」の提言書を作成している。データ集めとして自分たちも事業（かるた大会）に直接参加してきたとのこと。

狭山市は、社会教育委員会の 25 年度の数値目標、何回やって何人来たということが報告されたが、中身の質が問題。委員からは、行政は数字にこだわり過ぎているとの意見が多かったということです。

所沢市は、委員の改選があった事と、諮問・答申が基本で、自分たちで提言することはしていないので、まだ何にもしていないとのこと。教育委員との懇談が好評だったので、またやろうということで日程調整中。

日高市は、公民館のサークルにアンケートを実施している。纏まったら分析する。委員改選に当たって、公募委員 2 名を予定している。青少年主張大会に社会教育委員参加している。（富士見市は中学生主張大会を実施）

越生町は、公民館からコミュニティ館に変わり、いよいよスタートした。事業として子どもたち対象の星空の観察をした。

毛呂山町は、体育館使用料の減免が 12 月議会で決まるとのこと。高齢者の健康づくりイベントで、社会教育委員が、ペタンクで参加する。

坂戸市は、体育祭は台風で、何処も出来なかったとのこと。文化祭は実施。青少年主張大会に小学生 5 人・中学生 5 人・高校生 5 人が出場。社会教育委員は第 2 次審査から参加した。

鶴ヶ島市は、「家庭の教育支援」に取り組んでいる。0 歳児から高校生まで支援している児童館の視察に行ってきました。とのこと。既存の団体を活用しながら行政がどうかかわっていくべきかを検討したいと考えている。

入間市は、社会教育計画が出来た。

富士見市は、検討してきた「家庭教育について」、任期の関係で、年度内建議に向けて努力をしている。「文化財総合目録」の話をした。

ふじみ野市は、市民が講師となる市民講座を50講座実施。300人が参加。初年度としては成功。

三芳町は、中央公民館の建て替えに関連して使用料を決めた。

*参考になるものがあったら取り寄せてください。

3. その他

(1) その他

*次回会議日程

日時：平成27年2月9日（月）19時～

会場：教育委員会会議室

次回会議までに文章を提出のこと（欠席の場合にも）。

岩村先生には事務局から連絡します。

*5委員会研修会 1月24日（土）に予定。 高野委員欠席

5 閉会

【副議長】土曜日のお忙し中、お疲れさまでした。インフルエンザが流行っています。皆さん気を付けてください。

以上で平成26年12月の定例社会教育委員会議を終了いたします。

（閉会）